

## 第12回鳥取支部学術集会

学術集會会長：山陰労災病院院長 大野耕策



会場風景

2015年9月12日(土)、米子市文化ホールにおいて「チーム医療を極める！」をテーマに第12回日本医療マネジメント学

会鳥取支部学術集會を開催しました。県内各地から約160名の参加があり、基調講演、ランチョンセミナー、特別講演、パネルディスカッション、一般演題(口演)12題、一般演題(ポスター)26題について、発表や活発な討論が行われました。

基調講演は、鳥取大学医学部器官制御外科学講座胸部外科分野教授 中村廣繁先生に「チーム医療を極めるためのエッセンス～機能するチームとなるために～」と題して、また、特別講演は、野の花診療所院長 徳永 進先生に「在宅医療をみなで育てる」と題してご講演いただきました。

パネルディスカッションでは、急性期病院におけるチーム医療、急性期病院における退院調整の取組み、老人保健施設の立場から、訪問看護ステーションの立場から、地域包括ケアの求める医療・介護連携と、それぞれの立場からチーム医療、地域連携の現状と課題の報告がなされました。今後鳥取県において、チーム医療、地域連携をどのように展開していくべきか、全ての参加者が熱心に耳を傾け、活発な議論が行われました。

本学術集會を成功裡に終了できたのもひとえに関係者皆様方のお力添えの賜と心よりお礼と感謝を申し上げます、開催報告とさせていただきます。

## 第14回東北連合会・第6回岩手県支部学術集會

学術集會会長：岩手県立中央病院院長 望月 泉



会場風景

2015年9月26日(土)、アイーナ(いわて県民情報交流センター)において、第14回東北連合会、第6回岩手県支部学術集會を開催いた

しました。「医療チームからチーム医療へ～多職種連携の構築～」をメインテーマに、会長講演、特別講演1題、教育講演1題、シンポジウム2題、ランチョンセミナー2題、一般演題111題(口演79題、ポスター32題)を含め多数の発表が行われ、399名のご参加をいただきました。

特別講演、教育講演、2題のシンポジウムとも、テーマは「多職種連携」としました。

高いチーム力はメンバー個人の職能分野を高めることで向上し、多職種との有効な連携によりもたらされ、個々のモチベーションや満足度に繋がります。様々な職種が同じ目的に向かうチーム医療の必要性、そのための環境整備の大切さなどを再確認する会となりました。

職種を越えた、情報、意見の交換は今後の活動に役立つと期待しております。ご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。

## 第15回岡山県支部学術集會

学術集會会長：川崎医科大学附属川崎病院院長 角田 司



会場風景

2015年10月4日(日)、イオンモール岡山5階おかも未来ホールにて第15回岡山県支部学術集會を開催いたしました。今回は、メイン

テーマを「生活者視点の地域医療と街づくり」としまして、県内外から257名のご参加をいただきました。特別講演では、高松丸亀街商店街振興組合理事長 古川康造先生にご講演いただき、高松丸亀町のケースをもとに地域再生にかかる医療・介護の必要性についてお話いただきました。ランチョンセミナーでは、「地域包括ケアシステムのキーパーソンと成り得るか？看護職に求められる変化と役割」と題して、当院の山田 佐登美看護部長付参与より、地域医療、在宅医療によって変わりつつある看護師としての役割について講演がありました。

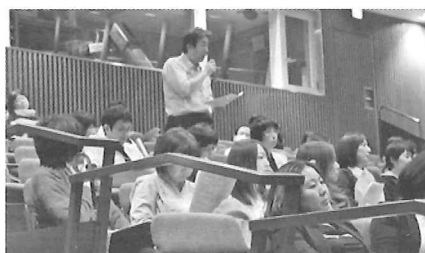
また、シンポジウムでは同テーマのもと、地域の異なる医療機関と生活者の立場である5名の方から、発表と総合討論をお願いしました。

一般演題14題、ポスター発表9題、クリティカルパス展示4題と多くの発表および展示をいただき、大変充実した学術集會となることになりました。

ご参加いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

## 第9回三重支部学術集會

学術集會会長：桑名東医療センター病院院長 岡田喜克



会場風景

第9回日本医療マネジメント学会三重支部学術集會は2015年10月10日(土)にアスト津、アストホールにおいて開催され